

JA6JNRさんからの誘いで「北九州マイクログループ」の各局と24GHzと10GHzのATV移動実験を4月2日(日)に行いました。

北九州グループは、山口県の「華山」海拔713mへ  
JA6IR, JA6LT, JA6AXC, JA6AZL, JA6DME, JA6EES,  
JA6GSV, JA6JNR, JF6IOK, JH6NXM, JP6MPZの各局が移動。

愛媛グループは、愛媛県喜多郡長浜町今坊(こんぼうと読む)林道、海拔560mへ  
JR5EEK, JA5GYU が移動しました。

相互距離は153Km。 双方とも今回は初めての交信でした。

当日の天候は、華山側はくもりで風が強く、アンテナの固定に苦労されたようです。  
愛媛側は、くもりで無風、快適な運用でした。  
気温は15度、湿度50パーセント視界は50Kmでした。

10時に実験を、いきなり24GHzでスタートし、短時間の方向合せですぐに強力な音信号を捕らえることができ喜びの中、ナンバー交換を各局と相互に行いました。

その後、ATVに移行し、カラーパターンでアンテナの微調整をしあいM5Cの素晴らしい映像の交換に成功しました。

相手の様子が手に取るように画像が送られて、ATVの醍醐味をぞんぶん楽しみました。  
両グループとも、150Km超の距離は始めてで感動しました。

ただ、当局の受信帯域が狭かったせいで、2WAY交信できなかった局もあり、残念でした。

153Kmの自由空間損失は、163dBでこれに水蒸気による付加損失が23dB加わり、合計186dBの区間減衰量があるため、高性能のアンテナと技術力が要求されます。  
初回で成功したのも、北九州グループの日ごろの技術研鑽のたまものだと感謝しています。

それから、昼食をはさんで、10GHzのATVの実験も行い、このバンドも各局とFBな画像交換を行いました。

華山から送られてくる画像には、沢山のパラポラアンテナと各局の勇姿が写っていました。

またの再開を約束しあい15時ごろ御開きになりました。

JA5GYU 近藤 恒幸

E-mail [ja5gyu@netwave.or.jp](mailto:ja5gyu@netwave.or.jp)

<http://www.netwave.or.jp/~ja5gyu>

